



鉄骨製造企業がものづくり補助金を活用して生産性向上を目指す

課題

高精度・短納期の要望に対応したい

北嶋鉄工株式会社は、建築用鉄骨（H形鋼など）の加工や取り付けを主要事業とする企業である。主な取引先は、秋田県内を中心に東北地方一円の建設資材販売会社、商社、鉄鋼業者など。納品した鉄骨は、県内の自動車部品工場、食品会社、運送会社の倉庫などをはじめ、首都圏のマンション、東京オリンピック会場の建設現場などでも使用されている。

地域には同業者が6社程存在するが、当社は溶接や品質管理の資格を有する熟練技術者が多数おり、スピード加工や短期納品を得意としている。

しかし、東日本大震災後、建物の安全性を求める声を背景に、取引先からはより高精度かつ短納期での納品を求められることが多くなった。そのため、鉄骨への穴あけなどの生産プロセスを改善し、生産性を向上させる必要があった。

支援

事業計画書の作成支援から実行支援を継続

ニツ井町商工会では、平成29年秋に同社から新しい設備を導入して課題解決を図っていききたいとの相談を受けた際、ものづくり補助金の活用を提案。そして、同社の強みを活かしながら新たな設備導入により生産性を向上させて販路開拓に取り組むため、ものづくり補助金の事業計画書の作成支援を行い、採択を受けた。また付随して、多額の設備投資に対する固定資産税減免の税制支援を受け、あわせて審査の加点を受けるため、先端設備等導入計画の申請書も作成支援し、認定を受けた。事業を進めるにあたっては、後継者である専務（青年部員）が企業側の中心となり、一緒に取り組むことで資質向上を図った。

本事業では、NCオートドリルマシンを導入して、生産プロセスを改善。日本建築学会の溶接に関する規格に沿った高精度加工ができるようになり、鉄骨製作工場認定制度にも対応するなど、信頼性は大きく向上。また、加工速度アップによる生産性向上で、キャパシティオーバーの問題も解決した。取引先からの要望に応えるとともに、競合他社との差別化が強化されたことで、新たな販路開拓ができるようになった。

現在は、その成果を活かした販路開拓が行われている。特に首都圏では、東京オリンピック開催などでマンションや商



設備の導入などで生産プロセスを改善した

業施設の建設が活況を呈しており、人手不足による業界全体での受注制限を背景にオリンピック後も引き続き堅調な鉄骨需要が見込まれる。補助金を活用した取り組みは始まったばかりだが、今後軌道にのせて売り上げ・利益の拡大を図っていく。

商工会では、今回の支援以外でも専門家派遣によるチーム支援など各種支援を行ってきたが、今後も同社の事業拡大に寄り添いながら、また事業承継などの将来を見据えながら支援を続けていく。

支援の経過

期間	支援内容
H30年3月	ヒアリング、ものづくり補助金の申請支援
6月	ものづくり補助金採択
7月～	ものづくり補助金の実行支援
H31年1月	実行支援終了

会社概要

会社名：北嶋鉄工株式会社
 住所：秋田県能代市ニツ井町飛根字新大林381-1
 電話番号：0185-75-2107
 代表者名：北嶋忠宣
 創業年：昭和54年（法人化：平成27年）
 従業員数：20名
 商工会名・担当者名：ニツ井町商工会・榊英孝